

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです

2019年度後援会会長 就任あいさつ



法政大学後援会会長 渡辺 康太

平素より、皆さまには後援会活動に対しましてご理解ならびにご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

6月1日(土)に開催された法政大学後援会総会にて2019年度会長に推挙され、1年間皆さまと共に学生および大学の支援のお手伝いをさせていただくこととなりました。私で第72代目と伝統ある後援会の運営に携わることとなり、その責任の重さをあらためて痛感しております。

法政大学後援会は、戦後間もない1947年に「大学の教育方針のつくり、大学と学生家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、併せて会員相互の親睦を図る」ことを目的に、学生の保護者が自ら立ち上げた組織です。

現在では首都圏および北海道から沖縄県までの全国36支部、会員数は約2万8000人で構成されています。主な事業として、①学生と大学への助成、②広報関係への助成、③支部総

会・父母懇談会・首都圏父母懇談会の開催、④後援会奨学金の策定があり、会員から選出された後援会役員のボランティア活動で運営を行っております。

法政大学は志願者数においても最上位を争う人気を集め、注目される立派な大学です。その大学の後援会として、諸先輩方が築き、守り続けてきた理念をしっかりと受け継ぐとともに、現在の人口減少社会に合わせた必要な変革にも取り組み、持続可能な体制づくりに尽力いたします。

後援会活動は、「子どもの母校は我が母校」を合言葉とした、全国各地での会員の皆さま一人一人の皆さまなご協力の支えられています。

さらなる学生の満足度向上および「母校」の発展のため、本年度も引き続き後援会活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

会長退任にあたって



2018年度会長 小澤 徳

後援会の皆さまには平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。このたび、2018年度後援会会長の任期を終え、無事に次年度の役員に「伝統の棒(たすき)」をつなぐことができました。

法政大学は2030年、創立150周年を迎えます。急激な社会環境変化の中で、持続可能な大学運営を展開するために、2030年を展望する長期ビジョン「HOSEI2030」のアクションプランが実行段階に入りました。

後援会も「持続可能な後援会活動とは何か」を考え、一つ一つの活動の目的と成果、体制の在り方を見つめ直す原点回帰の年となりました。後援会活動の目的は学生と大学の支援、そして、会員相互の親睦です。その最も本質的な部分は法政大学のファンづくりだと私は思います。会員の皆さまには、野球や駅伝の応援など、学生と喜びを共有する機会に多くご参加いただきたいと思います。

私にとってこの1年は実に濃密な1年でした。後援会活動を通じて多くの良き友人を全国に得ることができました。また、後援会活動は多くの善意ある人々に支えられていることを実感しました。「子どもの母校は我が母校」、卒業する私たちの後援会活動はこれからが本番なの

かもしれません。

最後に、ご指導、ご協力いただきましたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。

写真で見る小澤会長の1年間



1 2018年6月2日(土)2018年度総会 2 2018年6月2日(土)総会後、新運営委員集合写真 3 2018年6月28日(木)常任委員との懇談会 4 2018年6月30日(土)多摩キャンパス見学会 5 2018年8月5日(日)山口県支部総会・父母懇談会 6 2018年11月10日(土)支部長会議 7 2018年11月19日(月)東京六大学野球秋季リーグ戦優勝パレード 8 2019年3月2日(土)後援会賞授賞式 9 2019年4月3日(水)入学式での挨拶 10 2019年6月1日(土)2019年度総会終了後、渡辺会長に次を託し譲り手を交わす

2019年度 法政大学後援会の主な年間行事

月日	曜日	行事	内容
4月3日	水	入学式	<大学行事>、日本武道館にて開催。後援会会長が後援会の活動について説明
5月18日	土	幹事会	後援会の役員会。決算報告、予算案等を審議
5月31日	金	支部長懇談会	支部活動の報告と意見交換
6月1日	土	支部長会議	後援会事業と支部総会・父母懇談会について打ち合わせ
		総会 懇談会	事業報告・決算報告、事業計画・予算案、2019年度役員を審議決定 大学主催の懇談会
7月16日	火	校友会との懇談会	大学発展のために、校友会と後援会が年1回行う懇談会
7月~8月	土・日	支部総会・父母懇談会	全国36支部で開催(本誌4、5月号参照)。総長、理事、副学長、学部長、学務・学生・就職関係職員が講演や説明を行う
10月6日	日	首都圏父母懇談会(市ヶ谷)	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の会員を対象に各キャンパスごとに開催。
10月13日	日	首都圏父母懇談会(小金井)	講演、キャンパスツアー、個別相談、学生サークル等の紹介等。多摩キャンパスは大学祭(多摩祭)と同日程開催
10月19日	土	首都圏父母懇談会(多摩)	支部活動の報告と意見交換
11月9日	土	支部長会議(支部長懇談会)	支部活動の報告と意見交換
		副学長・学部長・学生センター長・後援会懇談会	支部父母懇談会で会員から寄せられた質問等に副学長・学部長・学生センター長が回答
11月10日	日	支部長会議	支部総会・父母懇談会の報告、活動の情報交換
11月27日	水	総長・学内理事との懇談会	総長・学内理事と後援会運営委員会が会談
1月11日	土	オール法政賀詞交歓会	総長をはじめとする法政関係者が集う新年会
		幹事会	後援会の役員会。暫定予算などを審議
3月7日	土	後援会賞表彰	離間試験を突破した学生などを表彰
		学位授与式	<大学行事>
3月24日	火	外国人留学生表彰	国際交流に尽力した留学生を後援会が表彰

■ 後援会ウェブサイトのご案内 <https://www.hosei-koenkai.org/>

法政大学のウェブサイトを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。ぜひ一度ご覧になってみてください。



「宮城県支部新入生父母の集い」報告



宮城県支部長 植田修一（匠／文学部）

新入生の保護者の皆さま、法政大学へのご入学、心よりお祝い申し上げます。宮城県支部では5月19日（日）に、ホテルレオパレス仙台において「新入生父母の集い」を開催しました。本年度の新入生66人のうち18世帯20人の保護者の方々にご出席いただきました。



法政大学からは、小金井事務部学務課の糸井史博さんにご出席いただき、大学生生活や履修などについて大変分かりやすく説明していただきました。災害時の対応についての質問にも丁寧に回答いただきました。震災を体験した保護者も安心した様子でした。経済学部4年の加藤卓さんには法政大学の多彩な留学

制度を利用した留学体験を発表していただきました。充実した留学体験談を聞くことができ、自分の子どもが留学することになってもしっかりと送り出せると思います。

昼食を囲んだ懇親会では、同じキャンパスの先輩父母を交えて会話が弾み、にぎやかで楽しい時間になりました。

宮城県支部では、6月の支部長会議に合わせ、宮城県出身の新入生に在校生を交えた交流の場を「新入生の集い」として、市ヶ谷キャンパスの近くで開催します。「新入生父母の集い」とともに、新入生とその保護者への支援事業として継続していきたいと考えています。

宮城県支部は、「子どもの母校は我が母校」を言葉に、学生と大学を支援する一番の応援団として活動していきたいと思っております。今後とも會員の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

新入生父母の集いを開催しました



高知県支部長 岡林輝秀（輝／法学部）

高知県支部では5月19日に城西館にて新入生父母の集いを開催しました。城西館は「坂本龍馬生誕の地」の近くにあり、食事もサービスも素晴らしいところで、結婚披露宴もたくさん行われており、扉を開けるときれいな花嫁さんとパタリ会って「おめでとうございます！」なんてこともよくあります。

今年の新入生父母の集い開催に向けて、これまでよりも良いものにして、と役員一同が考え、準備に取り組んだ結果、なんと新入生の全家庭が参加（4家庭6人）という快挙で実施することができました。また、座席の配置についても話しやすさを考慮し、皆さん午前中には緊張も和らぎ、昼食時は笑顔になっておりました。

大学からは学務部教育支援課・課長の佛坂公子さんにご出席いただき、新入生の保護者の方々も真剣にお話を聞かれておりました。また休憩中には佛坂さんと参加された方が楽しそうにお話されていたことが、私たち役員に

とって大変うれしく感じられました。

今、支部の問題として、高知県からの入学者が2年前までの4分の1になっており、支部運営が危機的状況を迎えております。そのため、できるだけ多くの會員の方に後援会活動にご理解いただき、情報収集・交換の場として、また、親として最大限のサポートができるように、支部の活動に参加していただくことを役員全員が意識して取り組んでおります。

少人数の支部となりつつあっても、活気ある元氣な支部であり続けるよう新入生父母の集いをスタートとして頑張っております。



法政大学の練習試合、緑あつて法政大学へ入学し、素晴らしい指導者、仲間たちと出会い、日々鍛錬しています。また、他の部とも親交があり、志高き選手、友人と共に過ごせる日々は息子にとって一生の宝になると思います。今季は西田寛基主将を中心とした粘り強いチームプレーで、「今季こそは1部昇格を果たし後輩に託す！」を言葉に日々頑張っています。男子バレーボールの魅力はスピード、高さ、パワーです。会場で見るとさらに躍動感と迫りに圧倒されます。機会がありましたらぜひご覧ください。最後に、吉田康伸監督をはじめ、コーチ、マネジャー、OB・OGの皆さま、日々ご指導を賜り厚く感謝申し上げます。後援会並びに大学関係者の皆さまもご支援を賜り、御礼申し上げます。今後とも、さらなる熱い応援をよろしくお願いいたします。

東京六大学野球春季リーグ戦応援記



金子裕子（真澄／社会学部）

4月27日（土）、東京六大学野球春季リーグ法政大学対慶應義塾大学戦は、新天皇の即位に伴う10連休の初日に行われました。

この日は、HSC（法政スポーツコミュニティ）と後援会が共催した応援日だったため、多くの大学関係者や付属校関係者も加わり、神宮球場三塁側スタンドは、試合前からたいへん盛り上がりました。

法政は1回表、四番伊藤寛士一塁手の適時打で先制点を挙げ、初回から隣の席の人と肩を組んで、校歌を歌うことができました。先発のエース三浦銀二投手のピッチングも期待どおりでした。



しかし、試合終盤慶應義塾大学に逆転されてしまいましたが、試合は残念ながら結果となりませんでした。東京六大学野球は夢

の舞台です。全国の高校球児がその舞台上で活躍していることに胸が熱くなります。その舞台を支えるたくさんの人々と一緒に神宮球場で応援できることも、観戦の醍醐味です。

私の息子たちは、法政大学第二高等学校の硬式野球部に所属していました。かつて同じチームだった先輩や友達から硬式野球部勝利のために、応援団として「マネジャー」として、学生コーチとして、今もなお「結束」して応援していることに胸が熱くなります。

2018年秋季リーグで12季ぶりの優勝を飾った硬式野球部から目が離せません！私たち保護者も神宮球場で心からの声援を送りましょう。



法政大学の練習試合、緑あつて法政大学へ入学し、素晴らしい指導者、仲間たちと出会い、日々鍛錬しています。また、他の部とも親交があり、志高き選手、友人と共に過ごせる日々は息子にとって一生の宝になると思います。今季は西田寛基主将を中心とした粘り強いチームプレーで、「今季こそは1部昇格を果たし後輩に託す！」を言葉に日々頑張っています。男子バレーボールの魅力はスピード、高さ、パワーです。会場で見るとさらに躍動感と迫りに圧倒されます。機会がありましたらぜひご覧ください。最後に、吉田康伸監督をはじめ、コーチ、マネジャー、OB・OGの皆さま、日々ご指導を賜り厚く感謝申し上げます。後援会並びに大学関係者の皆さまもご支援を賜り、御礼申し上げます。今後とも、さらなる熱い応援をよろしくお願いいたします。

バレーボール部応援



藏田隆行（天輝／法学部）

男子バレーボール部は1939年に創部され、関東大学リーグ28回、東日本インカレ9回、全日本インカレ10回の優勝記録を持つ伝統ある部です。

そこで息子が活躍することは大変うれしく、ご指導くださる皆さまには、この場をお借りして感謝申し上げます。現在、バレーボール部は関東大学バレーボール2部リーグ所属で、1部リーグへ返り咲くよう山口県より日々応援エールを送っています。

息子は幼少期に水泳、サッカー、ピアノを始め、部活動ではバレーボールを始めました。中学2年のサッカー県選抜メンバー大会でひと区切りをつけ、全力でバレーボールにまい進し、JOCジュニアオリンピックカップでは山口県の主将として全国1位を目指して奮闘しました。



経験を活かしました。法政大学の試合、緑あつて法政大学へ入学し、素晴らしい指導者、仲間たちと出会い、日々鍛錬しています。また、他の部とも親交があり、志高き選手、友人と共に過ごせる日々は息子にとって一生の宝になると思います。今季は西田寛基主将を中心とした粘り強いチームプレーで、「今季こそは1部昇格を果たし後輩に託す！」を言葉に日々頑張っています。男子バレーボールの魅力はスピード、高さ、パワーです。会場で見るとさらに躍動感と迫りに圧倒されます。機会がありましたらぜひご覧ください。最後に、吉田康伸監督をはじめ、コーチ、マネジャー、OB・OGの皆さま、日々ご指導を賜り厚く感謝申し上げます。後援会並びに大学関係者の皆さまもご支援を賜り、御礼申し上げます。今後とも、さらなる熱い応援をよろしくお願いいたします。



経験を活かしました。法政大学の試合、緑あつて法政大学へ入学し、素晴らしい指導者、仲間たちと出会い、日々鍛錬しています。また、他の部とも親交があり、志高き選手、友人と共に過ごせる日々は息子にとって一生の宝になると思います。今季は西田寛基主将を中心とした粘り強いチームプレーで、「今季こそは1部昇格を果たし後輩に託す！」を言葉に日々頑張っています。男子バレーボールの魅力はスピード、高さ、パワーです。会場で見るとさらに躍動感と迫りに圧倒されます。機会がありましたらぜひご覧ください。最後に、吉田康伸監督をはじめ、コーチ、マネジャー、OB・OGの皆さま、日々ご指導を賜り厚く感謝申し上げます。後援会並びに大学関係者の皆さまもご支援を賜り、御礼申し上げます。今後とも、さらなる熱い応援をよろしくお願いいたします。

※（ ）内は子どもの名前／学部